

2021年11月1日

各位

株式会社クシム
(東証第二部:2345)

秘密計算技術を体系的に学べる eラーニングコースをリリース

この度、株式会社クシム(本社:東京都港区、代表取締役社長:中川博貴、以下「クシム」)は、データを暗号化した状態で解析を行える「秘密計算(セキュア・コンピューティング)」技術に関するeラーニングをEAGLYS株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:今林広樹、以下「EAGLYS」)と提携し、クシムが提供するオンライン学習管理システム「SLAP」にて発売を開始いたします。

○製品情報

「秘密計算によるデータ利活用とAI」

標準学習時間:約12時間

1ライセンス(利用期間:90日間):264,000円(税込)

2021年11月1日発売開始

【コースの特長】

「秘密計算によるデータ利活用とAI」は、EAGLYSの代表取締役社長である今林広樹氏監修のオンデマンド型研修プログラムです。秘密計算の基礎から応用までを体系的に学ぶことができます。データ活用・AIと、データセキュリティ双方にわたる高い視座を持てるほどの高度な内容を習得できます。全ページで今林氏の丁寧な解説付きで秘密計算の知識にあまり自信がない方でも安心してご活用いただける教材です。

【対象者】

- ・企業のDX・データ活用戦略を構想・推進する事業開発やコンサルタントの方
- ・顧客の先を見据えた実質的かつ他社と差別化されたソリューションを提案したい営業・プロジェクトマネージャー
- ・トレンドを先取りして、差別化した強みを持ちたいエンジニア
- ・セキュア・プライバシー保護AI解析・データ分析環境の事例や設計構築に興味がある方

【学習項目】

第一章 秘密計算とは?なぜ知るべきなのか?

1. データ社会に求められるセキュリティのパラダイムシフト
2. セキュリティ・プライバシー強化技術の台頭
3. 高機能暗号/秘密計算のビジネス活用への期待

第二章 秘密計算のユニークネスとコアバリュー

1. 従来の暗号技術と匿名技術との違い
2. 秘密計算のもたらす新たな価値
3. 秘密計算の活用でもたらされる変革

第三章 秘密計算のユースケース



1. 秘密計算ユースケースの構造整理
2. 各ユースケース紹介(活用目的・応用イメージ)

第四章 秘密計算の市場概況・グローバルの動き

1. 秘密計算がグローバルで今注目される背景
2. 秘密計算のグローバル事例調査
3. 秘密計算のトレンドを支える大手各社の動き

【秘密計算のユースケース例】

・JR 東日本

MaaS・Suica 推進本部と協調し、秘密計算技術を用いたパーソナルデータの新たなビジネス機会の創出に取り組む

・SAP.io

SAP ERP 製品への連携により、エンタープライズの機密データのセキュアなクラウド移管・データ解析に活用

・オーベラス・ジャパン

従来オンライン取引不可の億規模物件を対象に、売り手買い手のニーズ・物件機密情報を秘匿したままマッチング

・博報堂 DY ホールディングス

生活者に関するマーケティングデータを複数のデータソースを跨いで連携しマーケティングに活用

※上記は、EAGLYS の取り組み実績としての記載であり、本コースで内容を取り上げているわけではありません。

○オンライン学習管理システム「SLAP」とは

「Smart Learning Accelerator Platform」の各単語の頭文字を取った造語であり、管理者機能のみがフォーカスされがちな従来の LMS (Learning Management System) とは一線を画し、従業員一人ひとりにとってより良い受講体験が得られることにフォーカスした学びのプラットフォームとして設計されました。洗練された分かりやすいインタフェース、場所を選ばずスキマ時間で学習できるモバイル対応を特長としています。2019 年 11 月にクラウドサービスを開始し、学校法人や中規模企業ユーザを中心に、着実に導入実績を積み重ねています。

デモンストレーションや価格のご案内等をご希望の方はお気軽にご連絡ください。

※オンラインでのデモンストレーションも承っております。

◆オンライン学習管理システム「SLAP(スラップ)」

<https://www.kushim.co.jp/service/slap>

【EAGLYS 株式会社】

商号: EAGLYS 株式会社

URL: <https://www.eaglys.co.jp/>

「秘密計算を中心としたセキュアコンピューティング技術」を生かしたデータセキュリティやデータ利活用サービスを展開しております。

【株式会社クシム】

商号: 株式会社クシム

URL : <https://www.kushim.co.jp>



LMS(ラーニングマネジメントシステム)、eラーニングコンテンツの開発・販売を事業の柱とし、2019年より高度IT人材育成・提供の総合サービスを展開しております。

【お問い合わせ先】

株式会社クシム

ラーニング&コンテンツ推進部

learningpro@kushim.co.jp

【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社クシム eラーニング事業本部

TEL:03-6427-7380

<https://www.kushim.co.jp/service/slap>

以上

